



■ 3月24日(日)

駄菓子屋小春 (邦画)

午後2時～

本作品は、悪役商会の八名信夫さんが「熊本の皆さんの役に立ちたい」と決意し、1年5か月をかけて製作した映画です。舞台は地震から1年後の熊本。復興とは程遠いガレキの街にある駄菓子屋の店主・小春ばあちゃんを中心に、ふるさとを想う心、家族の絆が描かれています。撮影地として、木山神宮や仮設住宅が登場します。ぜひお越しください。

定員：100人(1人3枚まで整理券を配布) 対象：どなたでも

入場料：無料 申し込み：2月2日(土)から交流情報センター窓口で

開館…火・木～日曜日 午前10時～午後6時

水曜日 正午～午後8時

休館…月曜日(祝日の場合は翌日)

毎月第3金曜日

ばけばけ

那須正幹/著 ポプラ社

春の宵、公園に集まった老人たちは、「まさか」の出来事に遭遇する。だまされることへの不思議な感覚、亡き妻への思い、罠を逆手に取る知恵…。独居三老人がくりひろげる、おかしくて切なくて、人生の味がするまさかの物語。



たまねぎとはちみつ

瀧羽麻子/作 今日マチ子/絵 偕成社

内気で素直な千春は小学5年生。ふとしたことで修理屋のおじさんと知り合うが、そのお店には同じクラスの俊太もいて…。3人の特別な1年の物語。『Kaisei Web』連載を加筆・修正し単行本化。



「小さいのち」を守る

朝日新聞取材班/著 朝日新聞出版

予期せぬ事故で、虐待で、自殺で、失われてきた子どもたちの命、年間800人以上。司法・行政解剖の記録を分析するとともに、遺族の証言から予防策を考える。『朝日新聞』連載を再構成し単行本化。



蔵書点検のお知らせ

2月1日(金)～15日(金)は蔵書点検のため、図書館は閉館となります。2月の開館は16日(土)からとなりますので、ご了承ください。

なお、閉館中でも、時間外の本の返却受け付けを行う「ブックポスト」は使用できます。

上空からのぞむ赤井城跡



益城町文化
財保護委員
会

地点を含めた幅広い保存と活用が期待できる「まちづくり」。

崩落した石垣の中から矢穴のある石材が確認され、織田・豊臣期(江戸時代に築かれた石垣の部材であった可能性が指摘されています)。城域北側には、「浮草堀」と呼称され、湧水による水堀が残り集落の方向に配水されています。また、「北囲」や「南囲」の字名が残っており、水田の形状には水堀の痕跡がみられます。

このように、赤井城跡は、周辺の集落形態を含め、県内における城跡としては極めて良好に残存する一級の史跡と言えるものです。

また、益城町の戦国時代から江戸時代を地域の歴史として理解し、将来へと確実に伝えるうえで欠くことのできない史跡とされます。さらに、赤井火山の噴出物により形成された地形・地質を活かした文化財であるとともにジオサイトとしても重要な構成要素であり、湧水